

しましまプラス

通信部
(浦添・西原担当)
TEL:098(860)3555
FAX:098(860)3486
MAIL:ot-tushin@~

社会部
(那覇担当)
TEL:098(860)3552
FAX:098(860)3483
MAIL:shakai@~

南部総局
TEL:098(835)7651
FAX:098(998)9578
MAIL:nanbu@~
@以下はokinawatimes.co.jp



津波災害時の一時避難施設として4施設の所有者らと協定を締結した宜保晴毅市長(中央)―豊見城市役所

津波災害時の一時避難施設(避難ビル)指定に関する協定締結式

豊崎4施設市が指定

同協定は、東日本大震災を受けた津波被害を想定した具体的対策の一つとして実施。豊崎地域など内陸の高台避難に余裕が無い場合の一時的な避難対策とし、減災を図る。耐震性や津波に対する構造の安全性、建物階数などを考慮し、ホテルグランビューガーデン沖縄、シッタピバース大政、コアーズ豊崎、オアシスZERO豊崎を一時避難施設に指定した。避難収容可能数はそれぞれ400人、220人、290人、350人。各施設を代表し、ホテルを所有する富士開発の小尾一社長は「津波被害の少なかつた地域は、『地震が発生したら高台へ』との言い伝えを守っていたという。日ごろの防災訓練と広報活動が大事だ。今日の協定締結を、その第一歩にしたい」と力を込めた。

豊見城

豊見城市は26日、津波災害時の一時避難施設として市豊崎の4施設を指定した。各施設の所有者らを招いた協定締結式が同日、豊見城市役所であり、宜保晴毅市長は「遠くよりの近々の高台へが津波避難の鉄則。周知を図るとともに、対策拡充の契機にしたい」と話し

民謡3世代ハワイ公演へ



ハワイでの沖縄フェスティバルに親子3代で出演する(後列左から) 當間清子さんと長女の宮城迅さん、孫の(前列左から)千空さん、まどかさん＝西原町の當間さんの教室

三線・太鼓「踊らせたいたい」

西原町で民謡を教える當間清子さん(60)が、与那原町に住む長女の宮城迅さん(37)と孫の宮城まどかさん(10)、千空さん(6)と3世代のファミリーで公演活動をしている。9月3、4日にはハワイ・ホノルルで開かれる第29回沖縄フェスティバルの舞台に立つ。3曲を披露するほか、10月に開催される第5回世界のウチナーンチュ大会に「使命感を持って多くの県人の参加を呼び掛けたい」と話す。

當間さんが三代で海外の舞台を踏むのは、2009年の米ワシントン州レイクウッド市での沖縄フェスティバルで好評を博したのに続き、2度目。今回は沖縄ハワイ協会の高山朝光会長に出演を打診され、参加を決めた。2人の孫は、2歳のころから三線に親しみ、5歳から三

線を本格的に始めた。今年、まどかさんが琉球民謡音楽協会第10回民謡コンクールで三線・新人賞部門に合格。千空さんは、野村流伝音楽協会の琉球奨励賞(三線)優秀賞に合格した腕前。舞台では「豊年音頭」と當間さんの持ち歌の民謡2曲を披露する予定。まどかさんは「頑張って『豊年音頭』で皆さんを踊らせて、喜ばせたい」と口元を引き締めた。

市街地活性化へ 提案続々

ホコ天やクルージングなど



名護市「お出かけ市」

名護

稲嶺進市長が市民の声を直接聞く「お出かけ市長室」が24日、名護市産業支援センターで開かれた。「名護まち活性化実行委員会」のメンバーと、市街地活性化について意見を交換した。

同委員会は、字路、名護十字路をた五つの通り会から組織。市からは、親川敬副光産業部長らが参加者らは「お出かけ市」を開催し



迫力の音 被災地へ届け

東日本大震災の復興支援に向けたアース・エイド・チャリティーコンサート(主催・同実行委員会、共催・NPO法人コサまち社中、県音楽文化振興会、沖縄ジャズ協会、県ロック協会)が21日、沖縄市民

会館大ホールで開かれた。かつちゃん、上原昌栄、崎濱唯、宮里加代子琉舞研究所など、人気アーティストや琉舞団体が出演。被災地への思いを込め、多彩な歌や踊りを披露し、会場を熱気で包んだ。迫力満点の太鼓と歌で観客を引き込んだのは、宮永英一&琉球古武道太鼓＝写真。客席からは、指笛も響いていた。

館長ら約60人が参加、自治公民館活動の運営について議論



を交わした。うるま市から安座公民館館長盛期の3分の1が進む平安座直明。空き家対策会が一時的に補充して借り主の方法で取り組

11月「生まれ島・ミャーク大会」参加者募集

3... 出参ツ料... 人ルンるめほ... る務ミに指

集